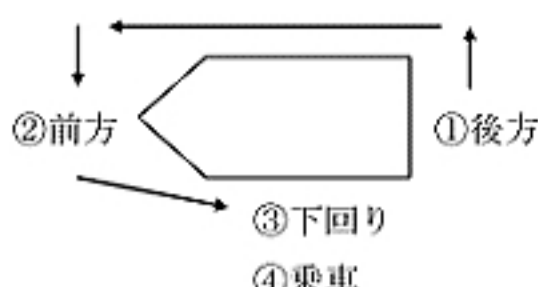


## 大型二種教習（基本操作及び安全確認の手順）

### 1、乗車手順

乗車前に周囲の確認（前方・後方・側方・下回り）



### 2、着座からエンジン始動まで

自分でドアを閉めて着座（教習では着座後、開閉レバーにて「ドアが閉まります」と声を掛けて、ドアを見ながら閉める）

- ① シート調節（クラッチを深く踏んで確かめる）※背筋を伸ばす。猫背にならないこと
- ② ミラー調節（ルーム・アンダー・サイドミラーを目視する）
- ③ シートベルト装着
- ④ サイドブレーキの確認（触る）
- ⑤ クラッチを踏んでニュートラルの確認（触る）
- ⑥ バッテリースイッチを入れる
- ⑦ キーを回してエンジンの始動

※ 順序が違ってても減点ではないが、毎回同じにしないと忘れやすい

### 3、発進の手順

- ① セカンドギアに入れる
- ② サイドブレーキ解除 ※足ブレーキ踏んでおく
- ③ 車内をルームミラーと直接目視により、乗客が着席しているか確認する※大型二種特有の確認
- ④ 左後方から右後方へ直接目視する（途中でサイド・アンダー・ルームミラーも確認する）
- ⑤ ハザードランプを消す。  
右合図（後続車を流したいときは、合図しない（ハザード消さない）判断もある）
- ⑥ 右後方をサイドミラーと目視確認で確認しながら発進する  
※ ハンドル操作を少なくし、急に路端から離れないようにする  
※ 路端から離れつつ左サイドミラーで、振り出しの確認  
※ 単路等で対向車が来ていて、後続が詰まっている場合は速やかに発進する（判断を正確に）

### 4、路端への停止

- ①進路変更確認 ルームミラー → 左サイドミラー → 左合図 → 3秒走行 →  
左サイドミラー及び目視（サイドガラス） → 路端30cm未満へ寄る  
※ 路端に近づく頃には、最徐行すること  
※ ハンドル緩やかに、直線的な寄せ方
- ②乗降口の中心を合わせ停止（電柱、標識ポール）  
※ 途中から目標物を直接見て合わせるが（自分が過ぎた位から）、その際は最徐行。  
前方に障害物のある時はそれも注視する（反射ポール、前方への割込車両など）
- ③停止手順  
ハザードランプ → サイドブレーキ → ニュートラル → 右方向指示器  
※ このまま試験官の発進指示を待つ ※ ブレーキペダルから足を離さない

### 5、駐車及び下車の手順

- サイドブレーキ → ニュートラル → エンジンを切る → バッテリースイッチオフ  
→ バックギア → シートベルトをはずす → イスを下げる → 降車確認
- ※ 教習ではドアを見ながら「ドアを開けます」と声を掛けて開閉スイッチを操作する

### 6、一時停止後又は信号待ち後（先頭）の交差点発進（直進）

- ① ルームミラー及び車内死角の確認（乗客の着席）
- ② 右（信号無視車両、残存歩行者など）なぜ右から確認するか？
- ③ 左（〃）  
※ 信号待ちにて、自車が先頭で無い場合でも、ルームミラー確認が必要（停止後は必ず）  
※ 信号待ちにて、自車が先頭で無い場合には左右確認は必要でないが、必要な状況にあれば危険部分を注視するのは当然必要

### 7、進路変更手順

- ① ルームミラー
- ② サイドミラー（変更方向）
- ③ 合図
- ④ 3秒走行
- ⑤ サイドミラー及び目視  
※ 教習の中で死角部分を確認する（指導員が死角部分付近を移動して実感する）
- ⑥ 横加速に注意してゆるやかに進路変更する  
※ 右折時は、寄りすぎてセンターラインからミラーを出さないこと  
※ 左折時は、道路側端から1メートル未満に寄せる（車道外側線内に進入しても良い）  
※ 左折方向の道幅等を考慮した寄せ幅にする

### 8、交差点右折の方法

- ① 進路変更後、早めに交差点状況を確認しておく
- ② さらに交差点直前（約5m前）にて右、左の確認（停止後は、乗客着座確認）  
※直進車を待つ場合も、進入前に右左確認を忘れない（信号無視車両、残存歩行者など）
- ③ ハンドル操作直前に左リアオーバーハング振り出しの確認（左サイドミラー）  
※ 対向直進車の判断は、自車の長さも考慮すること（普通車とは違う）  
※ 右後方からの横断者を見落とさないこと  
※ オーバーハング確認時に、危険があれば停止する

### 9、交差点左折の方法

- ① 進路変更後、早めに交差点状況を確認しておく
- ② 交差点直前（約5m前）にて巻き込み確認（サイドミラー及びサイドガラス）
- ③ 右、左の確認（停止後は、乗客着座・巻き込み・右・左）
- ④ ハンドル操作直前に右リアオーバーハング振り出しの確認（右サイドミラー）  
※ 左折を開始すると、かなりの死角部分が発生するので左後方からの歩行者には早目から十分注意しておくこと  
※ オーバーハング確認時に、危険があれば停止する（狭路では対向車も危険）  
※ 停止後に各確認をして発進しても、停止線から交差点角まで距離がある場合には再度直前で巻き込み・右・左確認  
※ 左折小回りの為には交差点内の内側ラインを踏んでも良い  
※ 右左折時に歩行者用信号が点滅した場合や黄色信号の判断は、  
停止も進行もどちらにも対応できる速度にすること  
（シフトダウン時の速度が十分落ちてないと迷うことになる）